

在宅介護実態調査結果について

■ 目的

厚生労働省では、軽度・一般高齢者の把握については介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を提示しているが、「要介護者の在宅生活の継続」や「介護者の就労継続」に有効な介護サービスのあり方を検討する調査として、「在宅介護実態調査」が示されている。

本調査は量の見込みを算出するものではなく、分析結果をもとに「本人の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の両立を支えるために、どのようなサービスが必要であるかを、地域ごとに議論する際の材料とすることを目的としている。

本調査ではサービス利用の実態とアウトカム（サービス利用の結果）の関係性を調査分析によって明確にしたうえで、今後のサービス整備の方向性を議論していくことを目指す。

「第8期介護保険事業計画」においても取組んだところであるが、継続して調査することで、「要介護者の在宅生活の継続」や「介護者の就労継続」に有効な介護サービスのあり方を検討するデータとして活用するため、本調査を実施した。

1 実施期間

令和4年12月1日から令和5年3月31日まで

2 対象者

在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている方のうち、更新申請・区分変更申請に伴う認定調査を受ける方

※介護保険サービスの利用実績のない、新規申請者については調査対象外

※昭島市内に住民登録を残したまま、他市町村にいる方については調査対象外

3 サンプル数

人口が概ね10万人以上の自治体においては、600サンプル数を確保することが望ましいとされていることから、以下のとおり実施した。

依頼件数 647件 有効回答数 613件 有効回答率 94.7%

※依頼数と回答数の差は、調査依頼後の入院、施設入所、調査拒否等によるものである。

4 調査項目

厚生労働省が示した内容は、基本調査項目（9問）に加えオプション調査項目（10問）となっているが、本市においては、認定調査員の負担を軽減するため基本調査項目（9問）のみとした。

5 集計結果

別紙のとおり

<集計分析結果>

(単純集計版)

在宅介護実態調査の集計結果

～地域包括ケア推進計画の策定に向けて～

令和5年6月

<昭島市>

目 次

1 基本調査項目（A票）	[P. 1]
(1) 世帯類型	[P. 1]
(2) 家族等による介護の頻度	[P. 1]
(3) 主な介護者の年齢	[P. 2]
(4) 介護のための離職の有無	[P. 2]
(5) 施設等検討の状況	[P. 3]
2 主な介護者様用の調査項目（B票）	[P. 3]
(1) 主な介護者の勤務形態	[P. 3]
(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況	[P. 4]
(3) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識	[P. 5]
(4) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護	[P. 5]
3 要介護認定データ	[P. 6]
(1) 年齢	[P. 6]
(2) 性別	[P. 6]
(3) 二次判定結果（要介護度）	[P. 7]
(4) サービス利用の組み合わせ	[P. 7]
(5) 訪問系サービスの合計利用回数	[P. 8]
(6) 通所系サービスの合計利用回数	[P. 8]
(7) 短期系サービスの合計利用回数	[P. 9]
(8) 障害高齢者の日常生活自立度	[P. 9]
(9) 認知症高齢者の日常生活自立度	[P. 10]
参考資料　在宅介護実態調査　調査票	[P. 11～12]

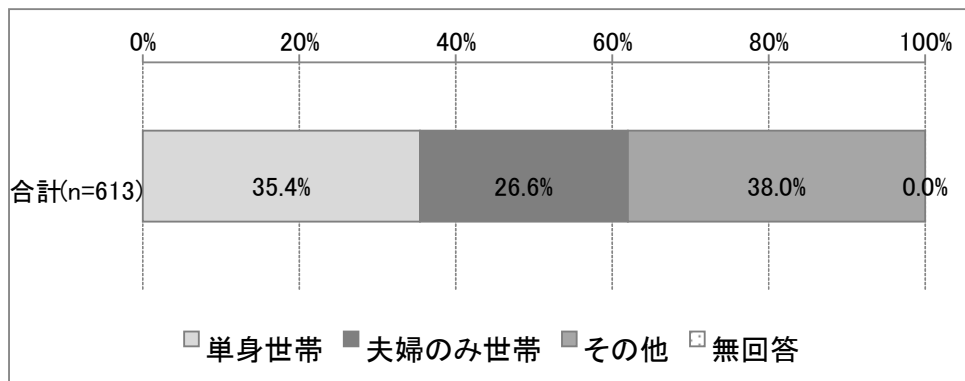
※上記3の要介護認定データは、申請日が令和4年10月1日から令和5年3月31日までで、かつ令和5年3月31日時点で認定を持っている方のデータを抽出したもので、本件調査とは対象人数が異なっている。

1 基本調査項目（A票）

(1) 世帯類型

「その他」の割合が最も高く 38.0%となっている。次いで、「単身世帯（35.4%）」、「夫婦のみ世帯（26.6%）」となっている。

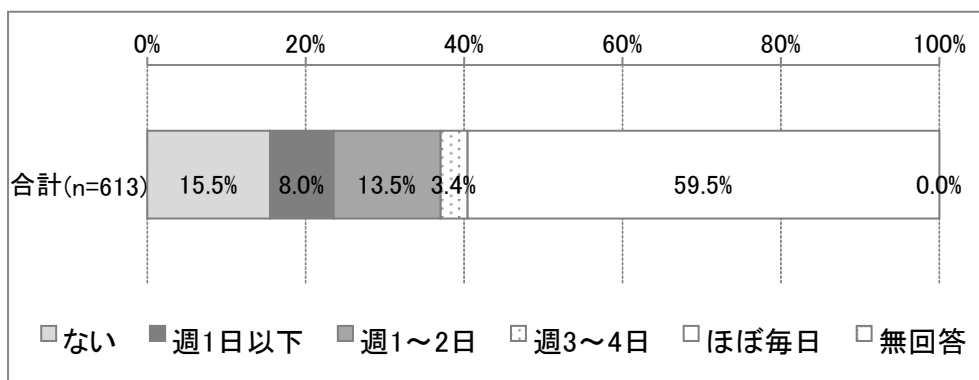
図表 1-1 世帯類型（単数回答）



(2) 家族等による介護の頻度

「ほぼ毎日」の割合が最も高く 59.5%となっている。次いで、「ない（15.5%）」、「週1～2日（13.5%）」となっている。

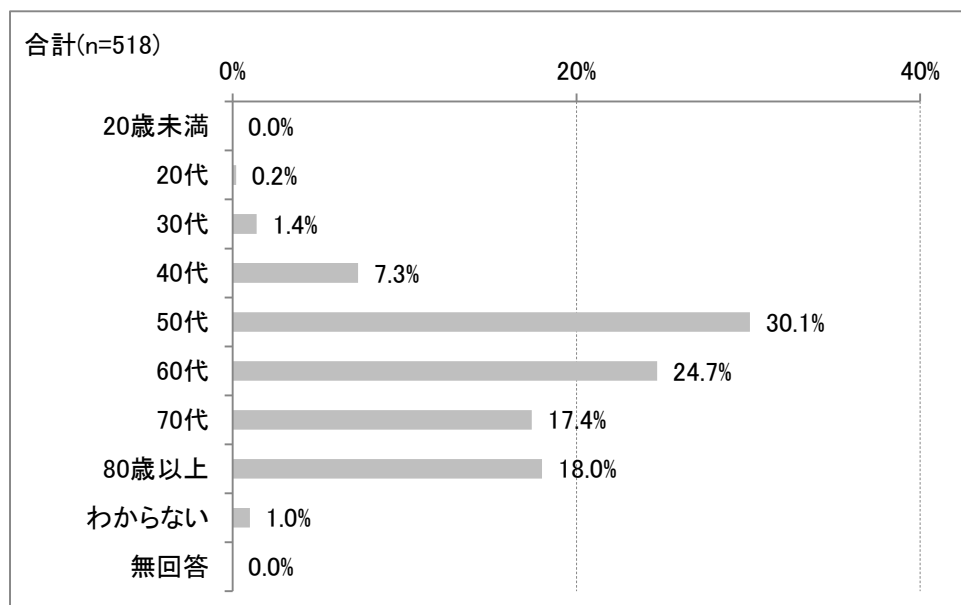
図表 1-2 家族等による介護の頻度（単数回答）



(3) 主な介護者の年齢

「50代」の割合が最も高く30.1%となっている。次いで、「60代（24.7%）」、「80歳以上（18.0%）」となっている。

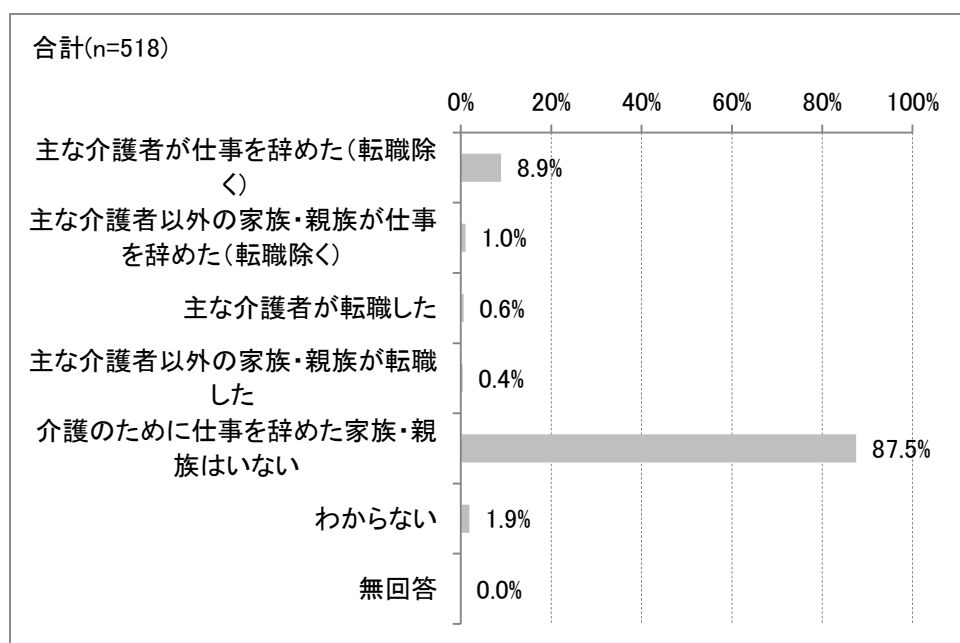
図表 1-3 主な介護者の年齢（単数回答）



(4) 介護のための離職の有無

「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」の割合が最も高く87.5%となっている。次いで、「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）（8.9%）」、「わからない（1.9%）」となっている。

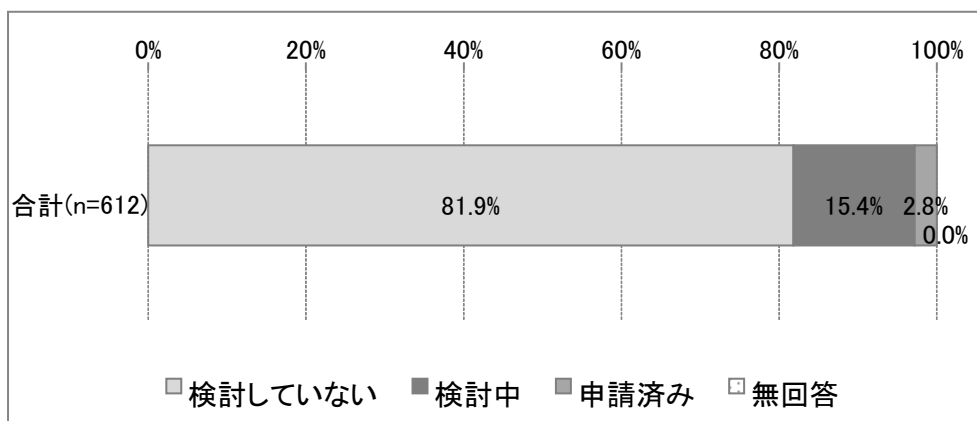
図表 1-4 介護のための離職の有無（複数回答）



(5) 施設等検討の状況

「検討していない」の割合が最も高く 81.9%となっている。次いで、「検討中（15.4）」、「申請済み（2.8）」となっている。

図表 1-5 施設等検討の状況（単数回答）

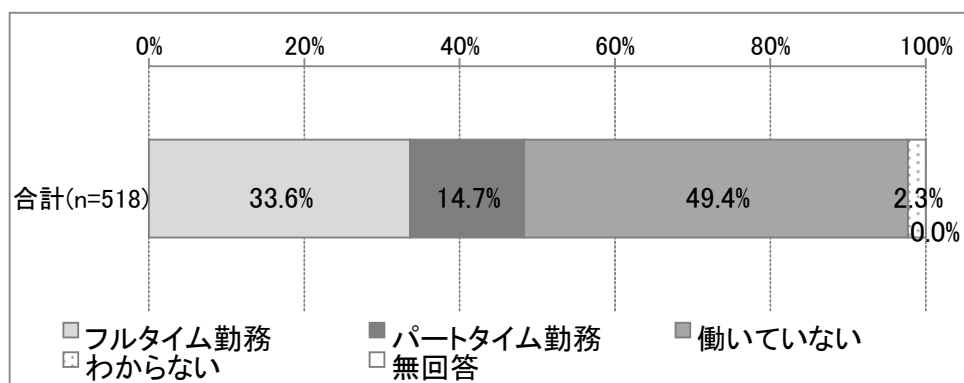


2 主な介護者様用の調査項目（B票）

(1) 主な介護者の勤務形態

「働いていない」の割合が最も高く 49.4%となっている。次いで、「フルタイム勤務（33.6）」、「パートタイム勤務（14.7）」となっている。

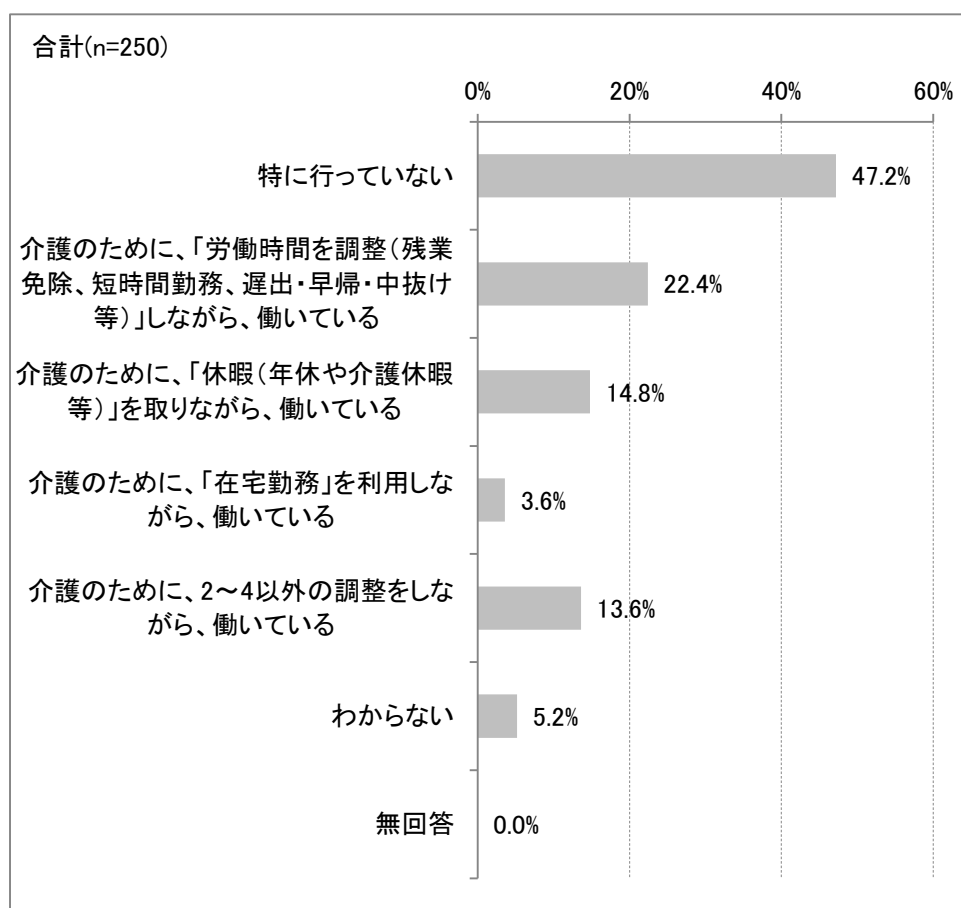
図表 2-1 主な介護者の勤務形態（単数回答）



(2) 主な介護者の方の働き方の調整の状況

「特に行っていない」の割合が最も高く 47.2%となっている。次いで、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている（22.4%）」、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている（14.8%）」となっている。

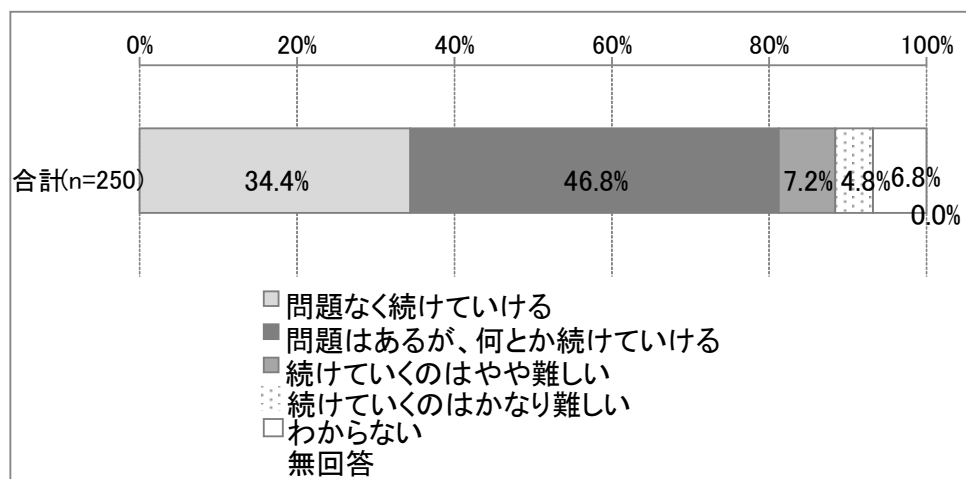
図表 2-2 主な介護者の働き方の調整状況（複数回答）



(3) 主な介護者の就労継続の可否に係る意識

「問題はあるが、何とか続けていける」の割合が最も高く 46.8%となっている。次いで、「問題なく続けていける (34.4%)」、「続けていくのはやや難しい (7.2%)」となっている。

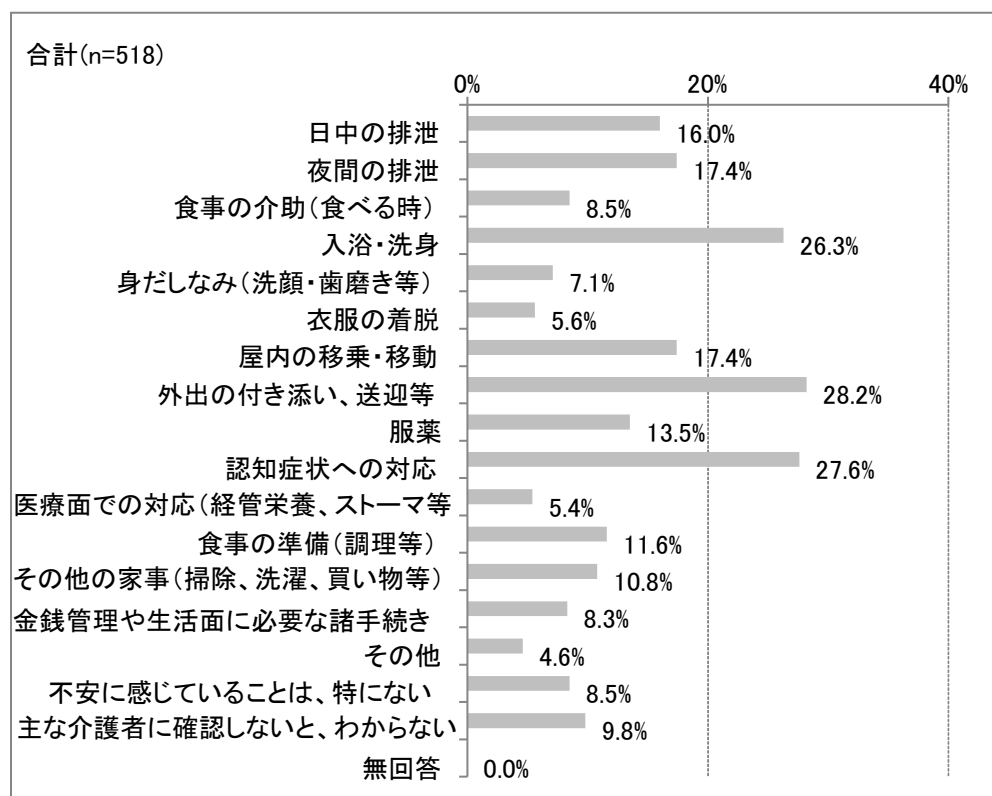
図表 2-3 主な介護者の就労継続の可否に係る意識 (単数回答)



(4) 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護

「外出の付き添い、送迎等」の割合が最も高く 28.2%となっている。次いで、「認知症状への対応 (27.6%)」、「入浴・洗身 (26.3%)」となっている。

図表 2-4 今後の在宅生活の継続に向けて、主な介護者が不安に感じる介護 (複数回答)

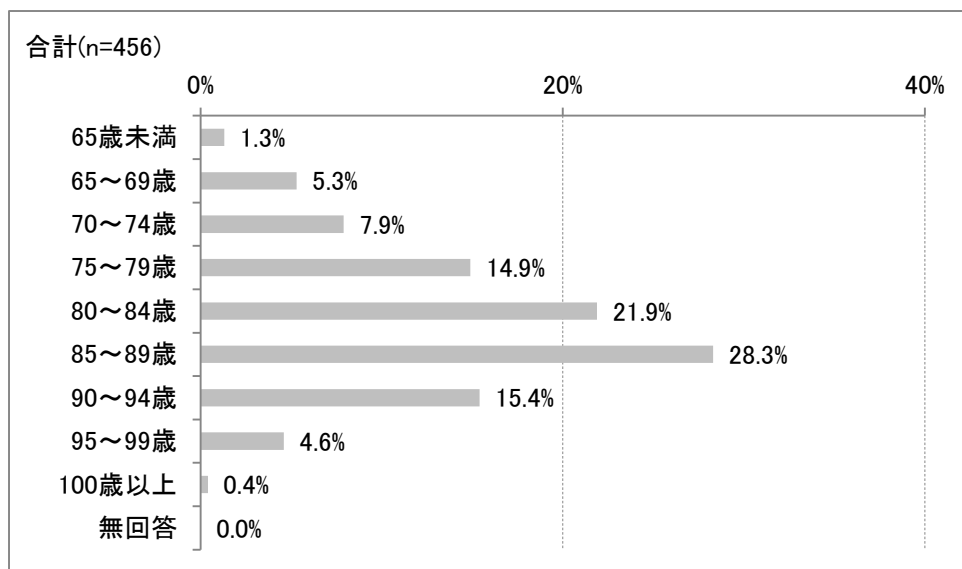


3 要介護認定データ

(1) 年齢

「85～89歳」の割合が最も高く28.3%となっている。次いで、「80～84歳（21.9%）」、「90～94歳（15.4%）」となっている。

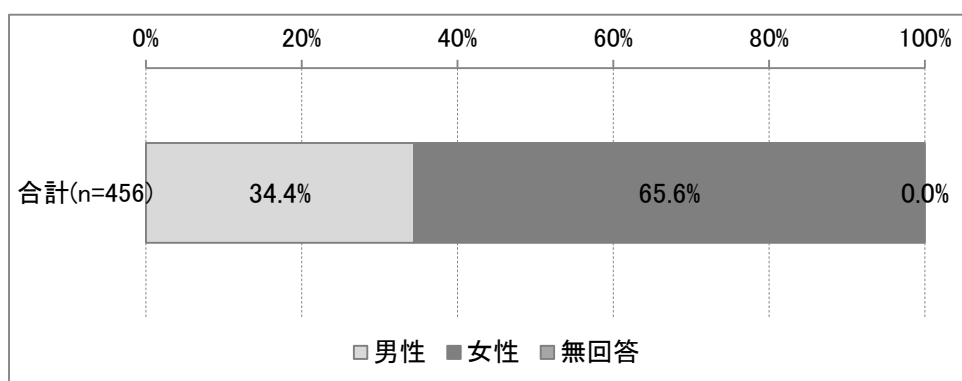
図表 3-1 年齢



(2) 性別

「女性」の割合が最も高く65.6%となっている。次いで、「男性（34.4%）」となっている。

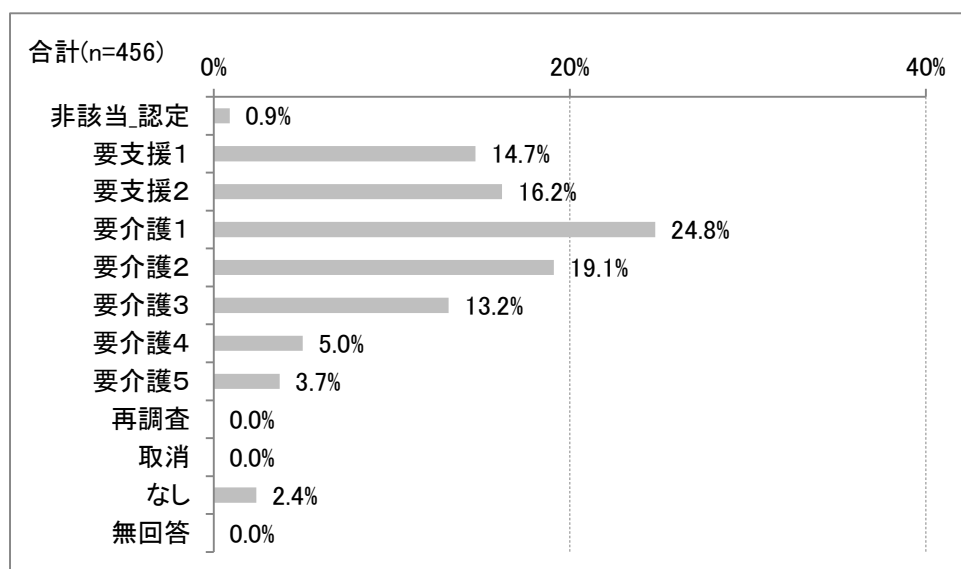
図表 3-2 性別



(3) 二次判定結果（要介護度）

「要介護1」の割合が最も高く24.8%となっている。次いで、「要介護2（19.1%）」、「要支援2（16.2%）」となっている。

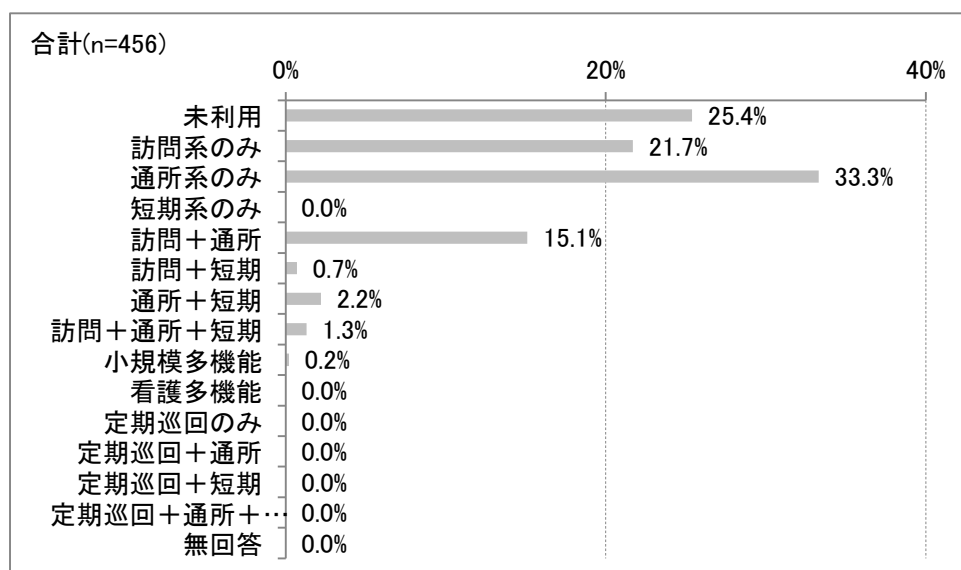
図表 3-3 二次判定結果



(4) サービス利用の組み合わせ

「通所系のみ」の割合が最も高く33.3%となっている。次いで、「未利用（25.4%）」、「訪問系のみ（21.7%）」となっている。

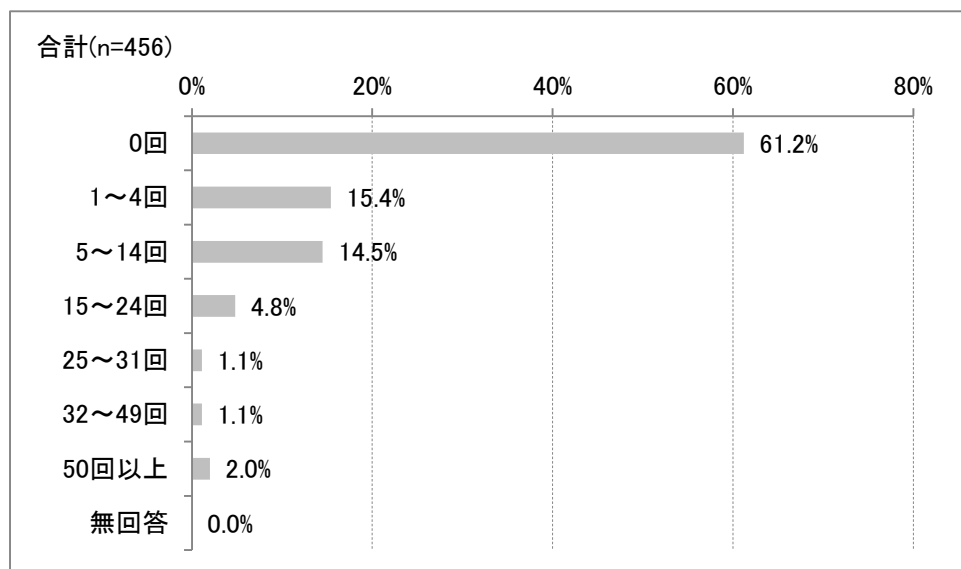
図表 3-4 サービス利用の組み合わせ



(5) 訪問系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く61.2%となっている。次いで、「1～4回（15.4%）」、「5～14回（14.5%）」となっている。

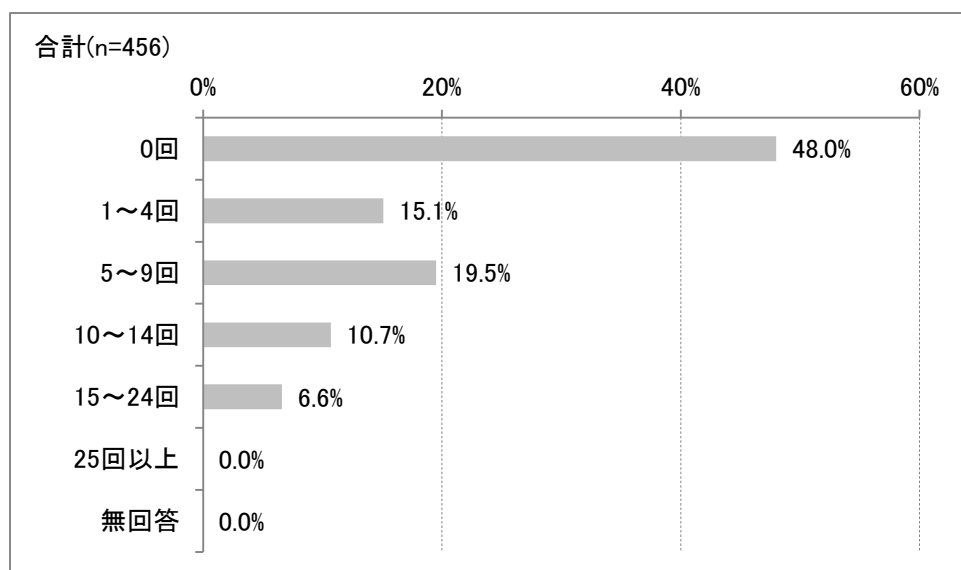
図表 3-5 サービスの利用回数（訪問系）



(6) 通所系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く48.0%となっている。次いで、「5～9回（19.5%）」、「1～4回（15.1%）」となっている。

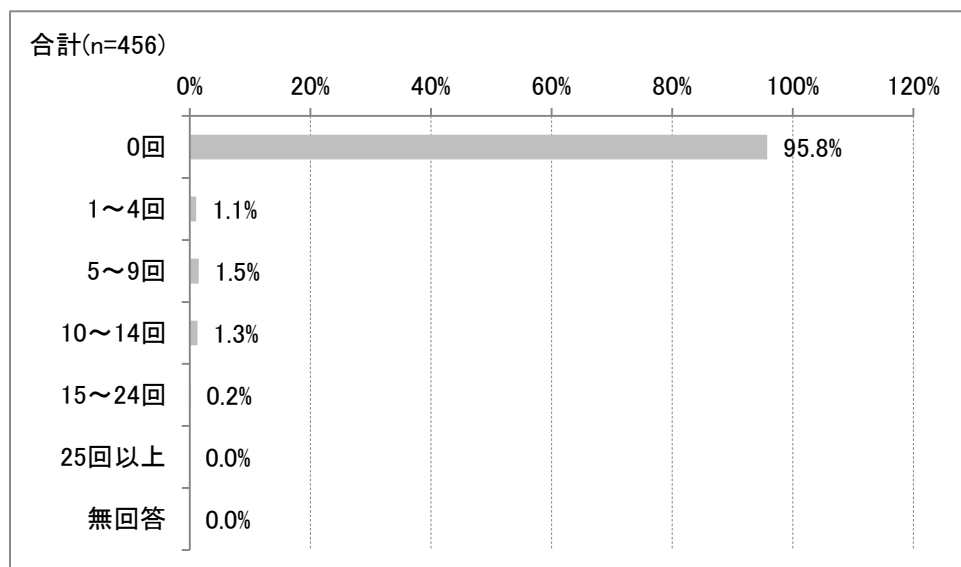
図表 3-6 サービスの利用回数（通所系）



(7) 短期系サービスの合計利用回数

「0回」の割合が最も高く95.8%となっている。次いで、「5～9回（1.5%）」、「10～14回（1.3%）」となっている。

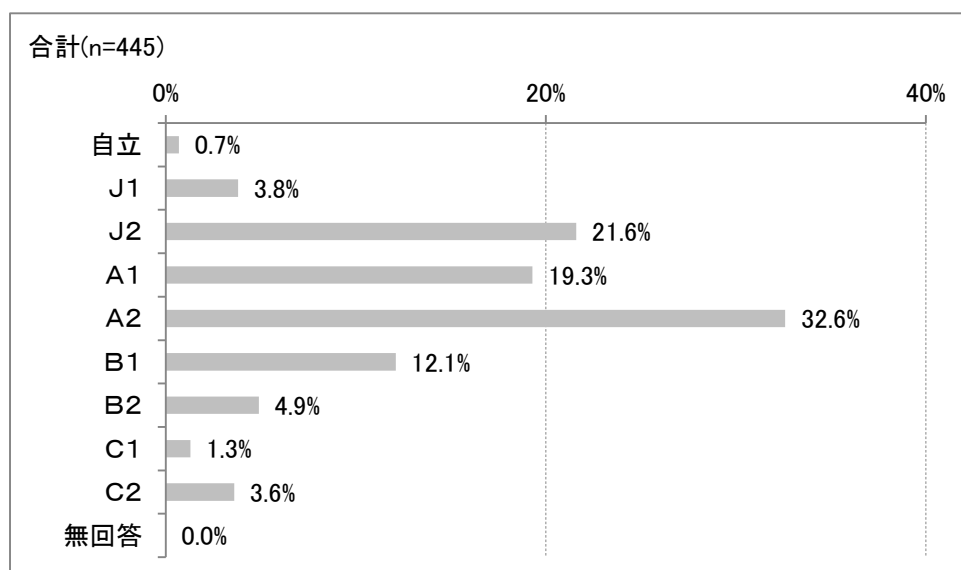
図表 3-7 サービスの利用回数（短期系）



(8) 障害高齢者の日常生活自立度

「A2」の割合が最も高く32.6%となっている。次いで、「J2（21.6%）」、「A1（19.3%）」となっている。

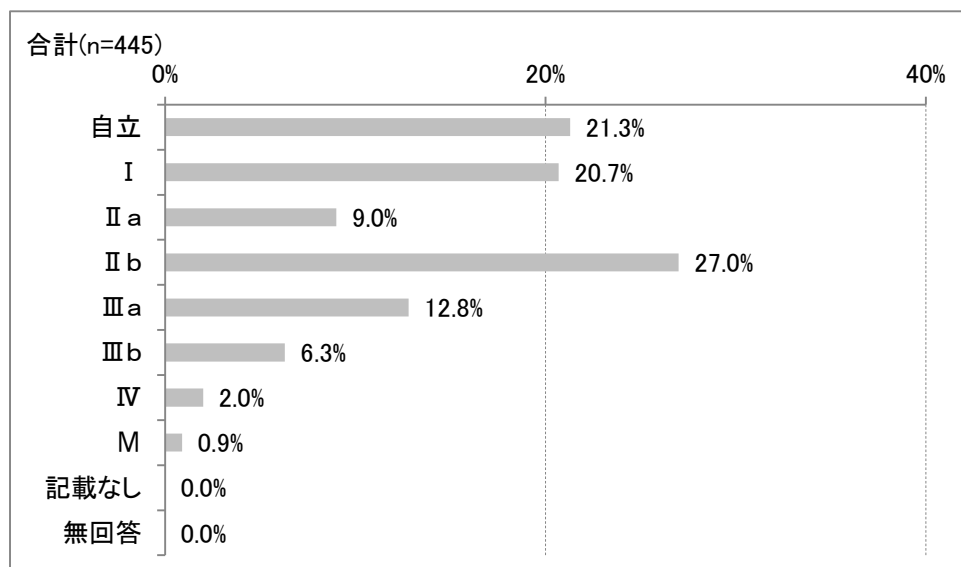
図表 3-8 障害高齢者の日常生活自立度



(9) 認知症高齢者の日常生活自立度

「Ⅱ b」の割合が最も高く 27.0%となっている。次いで、「自立 (21.3%)」、「Ⅰ (20.7%)」となっている。

図表 3-9 認知症高齢者の日常生活自立度



(参考資料)

基本調査項目のみ

在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号[_____]

【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】(複数選択可)

1. 調査対象者本人
2. 主な介護者となっている家族・親族
3. 主な介護者以外の家族・親族
4. 調査対象者のケアマネジャー
5. その他

A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ世帯
3. その他

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

1. ない
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある

問5を回答し、調査は終了です

問3～問5を回答し、B票へ

問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

1. 20歳未満
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80歳以上
9. わからない

問4 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

● ここから再び、全員に調査してください。

問5 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入 頂く項目

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- | | | |
|-----------------------|---|--------|
| 1. フルタイムで働いている | } | 問2～問4へ |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | 問4へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

● **ここから再び、全員の方にお伺いします。**

問4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 日中の排泄 | 2. 夜間の排泄 |
| 3. 食事の介助(食べる時) | 4. 入浴・洗身 |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) | 6. 衣服の着脱 |
| 7. 屋内の移乗・移動 | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬 | 10. 認知症状への対応 |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等) | 12. 食事の準備(調理等) |
| 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等) | 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。